

## 第 1 回いしかわの森づくり財源検討部会要旨

- 1 日時 平成 17 年 6 月 9 日（木） 10:00～11:30
- 2 場所 県庁行政庁舎 1104 会議室
- 3 出席状況 出席委員 5 名（全委員 7 名）
- 4 議事概要
  - （1）委員の互選により金沢大学の中島史雄教授を部会長に選任
  - （2）事務局から森づくりのための新たな財源制度等について資料説明の後、意見交換
- 5 主な発言内容
  - ・ 分担金や負担金は「受益の限度」を明確にする必要があるが、森林からの受益の程度を数値化することは困難。
  - ・ 法定外目的税は財源確保の有力手段であるが、安易に導入される危険性があるため厳しいチェックが必要。
  - ・ 法定外目的税の導入にあたっては、納税者の理解が大前提となる。
  - ・ 先行県では、全て超過課税方式で実施しており、制度の趣旨としては目的を持っているが、税の種類としては（法定外目的税でなく）普通税に分類。ただし、導入にあたっては、特定の目的のために税をお願いする旨、県民に説明している。
  - ・ 森づくりの財源を検討するにあたり、県の財政状況を把握する必要がある。